

現在の風景

旧川角農協前交差点南側より川角八幡神社を望む  
昭和46年6月（松田太郎さん提供）

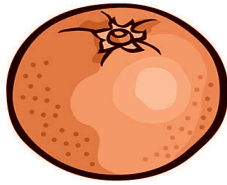
写真では分かりにくいかもしれませんが、現在の旧川角農協前の交差点から川角八幡神社の周辺は、川角地区の集会所が建てられ、住宅も立ち並んでいます。実際の周辺の環境は変わってしまっているのですが、写真を見る限り、自然が多く残された風景は、およそ40年の変化を感じさせないようにも見えます。

お知らせ

昭和60年代ごろまでの昔の写真を募集しています。ご提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎(295)2112内線332までご連絡ください。

徒然歳時記 うんしゅう 温州みかん

すっかり北風が身にしみる季節になりました。寒さが増してくるとコタツから出られなくなってしまふ人もいるのではないのでしょうか。ところで、コタツといえば、「みかん」を想像する人も多いと思います。一般的にこの「みかん」は、温州みかんと呼ばれ日本の冬には欠かせない果物といっても過言ではないと思います。



温州みかんは、和歌山県の有田みかん、愛媛県の愛媛みかん、静岡県の子三みかんが有名ですが、そもそも温州とは、どこにあるのでしょうか。実は温州とは中国の浙江省の地名なのです。しかしこの温州と温州みかんは厳密には、関係がないとのこと。浙江省の温州がみかんの名産地であるため、それにちなんで名付けられたと言われています。現在の温州みかんの原産地は、鹿児島県であるという説が最も有力とされています。ちなみに海外で温州みかんは「サツマ」とか「サツママンダリン」と呼ばれているそうです。

温州みかんは、そのまま食べたり、お菓子やジュースに使われたりと幅広く食されているほか、皮を乾燥させて、陳皮という漢方に使われたりもしています。また温州みかんは、昔から風邪の予防に良いといわれています。これは温州みかんにビタミンCなど風邪の予防になる成分が含まれているためです。

日に日に寒さ増すこの時期。温州みかんを食べるなどビタミンCを摂り、風邪に負けないようにしましょう。

町内4地区の獅子舞の取材に行きました。どの地区も特徴があって、毎年楽しみにしている取材のひとつです。しかし取材に行ったあとは、笛の音色が耳に残って、しばらくの間は、笛の拍子に合わせて仕事をしています。(1)

編集後記

わがやのアイドル



麻原 大馳くん  
(3歳8か月)

お祭りの影響で太鼓が大好きになり、1歳のころから叩き続けていてなかなか

腕前です。自宅のお店にいる時は、お客さんに商品とお釣りを渡すのが現在のマイブームです。



高尾 一瑛くん  
(4歳11か月)

とても人なつっこい一瑛は、沢山の人から愛され日々成長しています。

これからも優しい笑顔を振りまいて、みんなにHappyを届けてね!!

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。

申・問 役場秘書広報課 ☎(295)2112内線332

人口 35,887人(-75人)  
【男17,882人(-34人) 女18,005人(-41人)】  
世帯 15,635戸(-19戸)  
※平成24年11月1日現在(カッコ)内は前月比